

【別表】『岩手日報』『岩手民報』『岩手公論』『岩手毎日新聞』関連記事一覧(大正四年八月～一〇月) ※便宜上、引用記事の数字の多くは算用数字に改めた。

(酒井晶代「巖谷小波の花巻巡講—花巻尋常高等小学校(大正四年九月一五日)の絵葉書を出発点として—」(『大阪国際児童文学振興財団研究紀要』第37号、2024年3月31日))

掲載日	岩手日報			岩手民報			岩手公論			岩手毎日新聞				
	見出し	掲載面	記事の概要	見出し	掲載面	記事の内容	見出し	掲載面	記事の概要	見出し	掲載面	記事の概要		
8月20日	蚕糸品評会準備	2	現時点での出品点数や郡役所での準備の様子を報じる。また、県庁内の支会役員も来月1日から現地で事務作業を開始すること、花巻の協賛会で歓迎準備が行われていることなどもわかる記事。	本県蚕糸品評会 彙報：出品点数 二千五百余点	2	現時点の出品点数や諸行事の予定を報じる。蚕糸品評会の会期(9月13日から19日まで)も記載あり。また、この時点で花巻電鉄とのタイアップ(園遊会終了後、志戸平温泉までの往復無賃乗車券を発行)が企画されていたこともわかる記事。								
	【参考】志戸平の光栄：北白川宮御成り殊の外の御満足	3	目下花巻に滞在中の北白川宮成久王殿下が17日に志戸平温泉を訪問、「石川郡書記、平賀湯口村長、久保田温泉主を初め五百余名の浴客及び村民一同」が奉迎した。浴室は今回殿下のために新築したもので、お褒めの言葉があった。温泉主の久保田逸郎氏は出発に際し殿下から金一封を拝受したが、これは「御尊影奉安所新築費用」として、村の小学校へ寄附するとの申し出があった。	一級蚕繭品評会	2	蚕糸品評会の開催を機に、県下各小学児童が夏期休業を利用して飼育した「一級蚕繭品評会」が催されること、昨日までの出品数が既に三千点に上っていることを報じる。								
8月21日	蚕糸品評会役員	2	品評会の事務分掌決定の報告。							蚕糸品評会準備：事務には近々着手	2	来月の開催に向けて関係役員が種々準備しているところであるが、来月1日には県庁勸業課員も現地入りすることになった。会場には出品品も届きつつある。		
	【参考】花巻通信	2	鉛、蓋、大澤、志戸平温泉の繁昌ぶりと、電箱が18日に到着したことを報じる。運転予定日として「9月1日」を挙げている。							【参考】花巻電鉄開通期：来月中旬ならん	2	18日頃に貨車と客車がそれぞれ一両到着し、最早運転に差し支えないが、鉄道院の検査その他の日数を要するため、実際の運転開始は来月15日頃になる。		
8月22日				蚕糸品評会係員	2	係員と事務分掌決定の報告。「接待に関する事項」の担当者として「菊池郡視学」の記述あり。								
8月27日										蚕糸品評会鉄道割引	2	関係役員および出品人に対して、鉄道院が乗車運賃の割引を行う旨の報せ。		
8月28日	品評会汽車割引	2	品評会への来会者の便宜を計るべく、鉄道院に申請していた汽車割引の申請が認められた。9月10日から19日の間、割引が実施される。							繭品評会と審査員：審査長は追って発表	2	9月13日より開催される大日本蚕糸品評会において、審査員として推薦された人を報じる記事。		
8月29日										清浦奎吾子来県：蚕糸品評会に臨む為	2	品評会の褒賞授与式に会頭の清浦が臨席することを報じる。		
8月31日										出陳製糸審査：本日より大迫に於て	2	本日から7日間、品評会に出品するための製糸の審査を稗貫郡大迫町村田方で行う。公開制で養蚕家は随意に参加可能。		
9月2日	花巻通信：蚕糸品評会	3	品評会の事務が開始された。											
9月3日										花巻特報(二日)：蚕種品評会	2	1日から事務が開始されたことを報じる。		
9月4日	蚕糸品評会審査	2	13日から花巻町で開会予定の大日本蚕糸会岩手支会主催蚕糸品評会は昨日から同地で事務を開始した。既に2000以上の出品物が到着しており、7日までに2500以上になる見込み。出品物審査のため、8日には審査官や審査員が花巻に集合する予定						蚕糸品評会出品点数	2	13日から花巻で開催される蚕種品評会の出品数が増えつつある。県技手の佐藤慶一氏は開催地への出張準備中。	蚕種品評会に就て(上)(八幡生)	1	品評会開催に先立ち、要望を述べた記事。昨年の品評会で審査の基準が開示されなかった点を指摘し、蚕糸の改善に資するかどうか疑問いと批判する。
9月5日												蚕種品評会に就て(下)(八幡生)	1	品評会規則のなかに「出品は参考品を除く外本会の費用を補ふ為め凡て本会へ寄附するものとす」とあることから、出品した繭を取り上げられることを養蚕家が憂慮しているのではないかと指摘。いまだ品評会の意義が理解されていないと述べる。
9月7日	稗貫通俗講演会：巖谷小波氏出演	2	蚕糸品評会を好機会として、稗貫郡教育会が16日午後1時から花巻女学校で通俗講演会を開くことを決定した。同日午前中には付近の小学校でも「得意のお伽噺」を試みる。同会はさらに「盛岡高等農林学校長伊(ママ)藤義長氏をも招聘講演を請う予定にて交渉中」とのこと。予想以上の盛況になるだろう。						蚕糸品評会審査官	2	品評会の審査長と審査官決定を報じる。	稗貫通俗講演会：巖谷小波氏出演	2	蚕糸品評会開催を好機会として、「稗貫郡教育会」が通俗講演会を計画している。出演交渉していた巖谷小波氏から承諾が得られ、16日午後1時から花巻高等女学校で講演会を開くことが決定した。「同氏の本県に来るは今回を以て嚆矢とする処なれば去る八月開催の上杉博士の憲法講話以上盛会なるべし」。なお、盛岡高等農林の佐藤義長氏にも講演を仰ぐべく交渉中。
	花巻俳句大会	2	稗貫郡花巻町俳壇俳陣社では毎年春秋の2回俳句大会を開催しているが、9月16日に開催の全部通俗講演会の招聘により来郡する巖谷小波氏に秋季大会で講話を仰ぐ予定。準備のため門下生の照井稗人氏が奔走中。									蚕糸審査長任命	2	4日、県技師の岩藤馬太郎氏が「審査長兼審査官」を命ぜられたこと等、新たに審査官が任命されたことを報じる。

9月8日				本県蚕糸品評会 彙報	2	12(ママ)日から花巻で始まる本県蚕糸品評会出品物は目下各郡から続々と到着中で、昨日までにすでに1400余点に達している。このまま行けば予定点数の2070点を優に超える見込み。「夏期休暇利用の小学児童の一級育の出品は無数にして目下調査中なるも約3000以上に達すべし」。その他、参考品の到着、陳列場の整備、共(ママ)賛会整備、各郡の宿所などを紹介。花城小学校の生徒が授業の合間に出品物の陳列を手伝っていることも伝える。	蚕糸品評会彙報	2	「出品物続々来る」「他府県人の出品」「参考品」「陳列場の設備」「共(ママ)賛会設備」「各郡諸氏の宿所」の見出しで、準備の様子を報じる。同日の『岩手民報』の記事とほぼ同内容。			
9月9日	蚕糸支会総会	2	蚕糸品評会では15日に岩手支会総会を開催する。会長の清浦子爵をはじめ来会者は数百名に達するだろう。				蚕糸支会総会	2	15日には大日本蚕糸会岩手支会品評会褒賞授賞式に先立って支会総会が開催される。	蚕糸品評会と花巻：来賓の優待に努めん	2	「審査長以下出発」「蚕糸会頭来県期」「出品続々着荷」「協賛会の諸施設」「事務委員の宿舎」「総会を開会」「園遊会開催」「視察団歓迎」「賞品の等級」の見出しで、準備の様子を報じる。
	蚕糸審査会開始	2	既報のとおり昨日から品評会の審査が開始された。14日午前までには全部終了の見込み。				清浦子爵来県	2	清浦が褒賞授賞式のために来県することを伝える記事。			
9月11日	蚕糸品評会彙報	2	「出品点数」「団体観覧者申込」「軽鉄割引」「協賛会役員決定」「審査開始」「繰糸工女」「案内状発送」などを項目別に詳報する記事。確定事項として「16日稗貫郡教育会通俗講演会 当日は家庭教育お伽噺大家巖谷小波氏及盛岡高等農林学校校長佐藤義長氏出演の筈なれば盛会■(判読不能)ふべし」との記載あり。「稗貫郡教育互助会、同評議員会、校長会議」(17日)、「校長会議」(18日)など、この機に学校関係者向けの行事も計画されていた様子。	本県蚕糸品評会 彙報	2	「出品点数」「軽鉄割引」「役員決定」「審査開始」「繰糸工女」「紀年葉書」「諸会開催」の見出しで準備ぶりを伝える記事。「諸会開催」には「16日稗貫郡教育会の通俗講演会 当日は家庭教育お伽噺大家巖谷小波氏及盛岡高等農林学校校長佐藤義長氏出演の筈なれば盛会思ふべし」との記述あり。			花巻町の蚕糸品評会：十三日は開会初日	2	役員の名前と分掌を報じた記事。「接待に関する事項」の主任として「菊池郡視学」の名前が確認できる。	
9月12日	蚕糸品評会彙報	2	「出品物」「旅館取締」「県庁事務(学務?)委員来場」「膽澤郡団体」「巖谷小波」「審査員」「浦清(ママ)子爵の来花」「電車開通」「協賛会の活動」の各項目について詳報。小波は「15日に上野を発し翌日午前8時35分の列車にて来花の事に決定」。花城小学校でお伽講演ののち、午後1時から高等女学校内の郡部会通俗講演会に出演。「翌17日は盛岡市の需めに応じ同市より午後の列車にて帰京すべし」とある。15日には清浦子爵の花巻入りや電車開通も予定されており、後者については「地方の老若男女未見の者多く品評会参観祭典見物旁電車も見に来るもの多き模様なれば市中に煮え返る人出なるべし」とある。	蚕糸品評会と	2	「花巻の股賑雑踏」「出品五千点」「度衡展覧会」「県技手出張」「祭典と山車」「旅館と衛生」「膽澤郡団体」「小波氏来県」「出品皆優良」の見出しで、開会直前の準備ぶりを報じる。小波については「15日上野を発し翌16日午前8時35分花巻駅着下り列車にて来県に決定」「同日午前10時より花城小学校に於て得意のお伽噺をなし午後1時より花巻高等女学校に於て本県教育会花巻(ママ)郡部会通俗講演会に出演の筈なり」と報じている。	盛岡だより	2	盛岡での清酒品評会と花巻での蚕糸品評会について論じる。それぞれ付帯行事が多数あり、地方発展策としては好機であるが、徒にお祭り騒ぎにならないようにと戒める。また、この二つの催しが同じ時期に開催されることについて、「当局の注意の散逸」「県民の注意力が薄くなるやの憂ひ」を述べる。	第二回蚕糸品評会：花巻町は大景況	3	出品状況、開会式の中止、協賛会の役員決定などを報じるとともに「審査既に開始」「団体観覧申込」「岩手軽鉄割引」「花巻町の股盛」など開催を目前にした当地の様子を紹介。
	花巻通信：通俗講演会	2	16日午後から花巻高等女学校で開催される通俗講演会について、教育会部長葛博氏から各青年会団体及び各村長有志等へ案内状が発送された。				蚕糸品評会彙報	3	「出品点数」「軽鉄割引」「協賛会役員」「審査開始」の見出しで、準備の様子を報じる。			
9月14日	第二回蚕糸品評会	2	「開会前の景気」「両町内の賑ひ」「祭典と各町催し」「会場内の景況」「度量衡器展覧会」「三種曲尺の伝説」「樹の検定器にて」「繭の出品二千八百」「児童の一級飼育」「県内産は色澤黒く」「御下賜品の陳列」「褒賞授賞式の当日」「清浦子爵の来県」の各項目について詳報。駅前や役所などに門を建て、旗や造花で装飾を凝らした町内の様子、各室の展示状況、県内産の出来栄などが紹介されている。	本県蚕糸 光を競ふ：第二回生糸(ママ)品評会 は昨日より花城に開会	3	「開会式は散席」「会場内の模様」「満月に玉兔の」「第二より第五」「黄金丸の点綴」「五千点を越ゆ」「蚕種並に生糸」の見出しで開会初日の状況を伝える。	昨日より開会の蚕糸品評会：花巻町の賑ひ	3	「花巻町の股盛」「電車開通其他」「清浦子爵来花」「お伽噺の大家」「審査員慰労会」の見出しで、町内の装飾や賑わいぶり、便乗して大売り出しを始めた呉服店の様子などを伝える。小波の講演会については「聴講申込み者は膽澤郡団体百名を真先に附近小学校其他より陸続申込み」があると報じている。なお、記事冒頭で開会式が都合により見合されたこと、これに付随して知事らの参会も中止になったことがわかる。また志戸平温泉と台温泉が「温泉絵葉書」1000枚を協賛会へ寄贈し、来賓らに配付を依頼したとある。	蚕糸品評会へ：まだ整頓しない	3	「会場の混雑」「町内の装飾」「花電車を通す」の見出しで、まだ展示会場が十分に整っていない様子などを伝える。また、リード文から今年度の開催地について「水澤町遠野町福岡町及花巻町」の間で競争があったことが分かる。記事後半では花巻電車や、清浦と小波の動静にも言及。
				協賛会と祭：躍起となれる町協賛会 町社祭典で町内は賑ふ	3	花巻と川口の両町有志が協賛会を結成し、会場内外の装飾や来賓の歓待等、具体的にも精神的にも主催者側を援助している様子を報じる。清浦子爵が16日の通俗講演会に出席する予定との記述もあり。						
9月15日	花巻蚕糸品評会	2	開会2日目の様子と本日の授賞式の次第を伝える記事。続いて「某審査官」の談話の形で、「品評会審査状況」「春蚕の上簇期」「気候低き地方」などの見出しによる詳報あり。	蚕糸品評会：本日褒賞授賞式	2	本日午前10時から「大日本蚕糸会本県支会第二回蚕糸品評会」及び「種蚕共同飼育産繭共進会」の褒賞授賞式が開催される。				蚕糸品評会	1	品評会開催を機に、本県の農家にとって養蚕業は米作を補うものとして必需品であると述べ、欧州戦乱にもかかわらず糸価が好況を来しつつあることから、この品評会を機に蚕業の発展に邁進すべきとする。
										蚕糸品評会授賞式：本日午後一時より挙行	2	授賞式の開会時刻が変更されたことを伝える記事。式順も掲載。
										【参考】志戸平温泉新築浴場	3	新築された浴場の写真(記事無し)
9月16日	蚕糸審査概況	2	品評会褒賞授賞式における審査長の審査概況の紹介。	蚕糸品評会：於花巻昨日の褒賞授賞式	2	褒賞授賞式に時間変更があったことを伝える記事。午前10時の予定だったが、支会長を務める大津知事が北白川宮殿下の見送りのため臨場が午後となり、急遽午後1時からの挙式となった。	蚕糸品評会授賞式：昨日午後一時より挙式	2	昨日午後1時から開催された「大日本蚕糸会岩手支会総会」及び「第二回蚕糸品評会」及び「種蚕共同飼育産繭共進会」の褒賞授賞式について、会場の様子と受賞者の顔ぶれを報じる。	蚕糸品評会授賞式：蚕糸支会総会等	2	15日に開催された総会と授賞式、園遊会の様子を伝える記事。清浦会頭は他の来賓とともに志戸平温泉に招待されていたが、大津知事の懇請により、夜の便で盛岡に向かったことが分かる。

	第二回蚕糸品評会褒賞式：花巻町稀有の盛況	2	昨日午後2時から花巻町の県立高等女学校で挙行された「大日本蚕糸会岩手支会総会、第二回蚕糸品評会及稚蚕共同飼育産蘭共進会褒賞授与式」の様子を伝える記事。会頭の清浦子爵のほか大津知事が臨席したことを伝える。褒賞授与者の氏名、園遊会の様子なども報じている。									
9月17日	清浦子爵来盛	2	清浦子爵は一日、蚕糸品評会褒賞授与式に臨席した後、午後6時に大津知事とともに来盛。昨日は午前中に「二才駒坂及盛岡高等農林学校を視察」し、午後は「清酒品評会を視察」した後、午後7時の列車で帰京した。	清浦子の動静：昨日北海道に向ふ	2	清浦子爵は一日夕方6時3分盛岡着の列車で大津知事らと共に来盛、昨日盛岡発の列車で札幌に向けて出発した。	蚕糸品評会記事	1	一日の褒賞授与式に於ける大津知事の告辞、審査長の審査報告を掲載。後者には出品数に関する紹介あり。	蚕糸業者に望む：清浦子爵の告辞	2	褒賞授与式における清浦の告辞の概要を掲載。
				蚕糸品評審査報告：於蚕糸会本県支会	2	審査長による審査報告を掲載。	天然に勝て	2	褒賞授与式に於ける清浦圭吾会頭の演説を掲載。	本県蚕糸業の成績(上)：岩藤技師の報告	2	岩藤技師による出品審査の報告
				花巻町に開催される蚕糸品評会褒賞授与式詳報	3	「昨日の続き」として、授与式の様子を報じる。	清浦子爵来盛：本日札幌に向け出発	2	清浦子爵の動静を伝える記事。一日の褒賞授与式後に知事とともに来盛、昨日は市内を視察し、蚕糸会発会式に臨席するため本日札幌に出发予定。	清浦子爵の視察：昨夜帰京の途に就く／知事花巻行	2	清浦会頭は大津知事の案内で16日午前中に高等農林学校、午後は奥羽連合清酒品評会をそれぞれ視察し、午後七時盛岡発の列車で帰京した。知事は清浦子爵を見送った後、同じ列車で花巻へ出張し、同地に一泊して蚕糸品評会と花巻電車を視察して帰京の予定。
							蚕糸会雑感	3	褒賞授与式に臨席するかたがた榎實郡役所を訪問した記者が、開催までの経緯や会場の様子について思うところを綴ったもの。			
9月18日	蚕糸審査概況(二)	2	「食桑不足に因る」「貯蔵観念の幼稚」「近年進境に入り」「蚕種の需要激増」「蚕糸業の発達は」の見出しで品評会の審査概況と今後の課題について述べている。	蚕糸品評会審査報告(昨日の続き)	2	審査長による審査報告を掲載。	審査報告：昨紙の続き	2	『岩手日報』の記事「蚕糸審査概況」とほぼ同内容。末尾まで読むと、品評会審査長を務めた「岩手県技師 岩藤馬太郎」名で報告されたものとわかる。	【参考】花巻電車開通	2	一日に検査を終え、昨日開通。同日から三日間、花巻電車を運転中。
	花巻通信：仮装行列と堤灯行列	2	蚕糸品評会を祝するため、花巻青年団が15日夜に仮装行列を、また町内有志少年は堤灯行列を行った。	巖谷氏の講演：花巻郡(ママ)部会通俗講演会聴衆千五百満堂に溢る	3	一日午後2時から花巻高等女学校でで開催された通俗講演会の様子を報じる。「郡内の部会員町内有志は勿論遠く他郡の教育部会より出席するもの多く」「さしにも広き同講堂も爪の立つべき隙無遅ればせなる聴衆は入る可くもなければ軒下にて佇み聞き居るものも多く聴衆無量一千五百を算したり」。佐藤は「御大典と農事」の演題で約1時間半農業論を講演、小波は「カチカチ山新論」と題してカチカチ山を「我邦昔中最も残忍酷薄なるものにして教育的昔弊としては最も不適当」と痛論したうえで、「それより桃太郎の物語花咲せ爺の話など」を説き、欧米の例も引用して同じく約1時間半の講演を行った。	【参考】花巻電車開通	2	花巻電気株式会社の企画にかかる花巻一発電所間の電鉄線が一日運転を開始した。発電所に近い志戸平温泉への乗客も多い。明日まで花巻電車が運転されるため、その見物客も大勢集まっている。	本県蚕糸業の成績(下)：岩藤技師の報告	2	前日の記事の続き
				蚕糸品評会続報：清浦子爵の演説 来賓の貼築視察 鳥谷崎神社祭典	3	見出しのとおり清浦子爵の演説内容、来賓の貼築視察、町社祭典の様子を伝える。	清浦子爵動静	2	子爵の動静を伝える記事。16日は農林学校と馬検場の視察、清酒品評会に参加したのち帰京。			
						花巻の小波氏講演会	3	16日午後2時から開催された小波の講演会の様子を伝える記事。「カチカチ山と題して欧州の騒乱より東亜の大勢、国民道徳より経済産業等に涉り独特なる真摯の間に滑稽あり滑脱の裡に誠実を籠めたる快弁を奮うて(中略)約二時間聴衆をして恍惚として傾聴せしめ非常の感興を与へたり」。また午後六時半から「花巻俳団」にて俳句会を開き、「通題は『露』『砧』にて会する者三十名余」「運座互評等ありて頗る盛會を極めたり」。				
9月19日	蚕糸審査概況(三)	2	「実業教育の一端」「優秀なる結果を」「県下斯業の将来」の見出しで品評会の審査概況と今後の課題について述べている。小学児童の出品物についても言及あり。	【参考】花巻電車開通	2	明日20日に「花巻電車」が運転され、招待試乗及び視察が予定されていることを報じる。				花巻町より(上)	2	「小波氏講演」「通俗講演会」の見出しで、講演当日の様子を報じた記事。花巻小学校での講演には「児童ばかりで無い児童の兄と名乗り親と称して髭の生えた少年高髯長髯の少女が大に見え却て此方が多い位」とある。通俗講演会の方は小波のいでたちや口調、聴衆の反応までをも記事にしている。
	【参考】花巻電車の開業	5	花巻電気の経営による花巻志戸平間の電車は16日に試運転を行い、検査成績も良好で営業認可が下りた。昨日から営業を開始したが、明日は当地の新聞記者を招待して試乗を乞うはず。									
9月21日							【参考】昨日より運転開始する花巻電車	3	花巻電車の写真(記事なし)			
							祭で賑ふ花巻町：町内は人で埋る	3	祭典の1日目、2日目の様子を伝える記事。花巻電車の開通、品評会も重なり、町内が賑わっている様子を報じる。文末に「19日花巻支局」の記載あり。			

9月22日				【参考】花巻電車開通披露会：乗客試乗は花巻電車	3	花巻電車が16日に開業したこと、20日には県土木課長、花巻軽鉄関係者、当市の四新聞記者などが花巻電車で「志戸平温泉旅館久保田逸郎氏方」へ招待され、宴会が開かれたことなどを報じる。所要時間について「松原発電所より川口西公園迄二里余の所僅か廿五分間にして運転したり」とある。			花巻町より(下)	2	「俳陣社大会」の見出しで、「南岬館」(天龍堂境内)で開催された俳句会の様子を報じる。	
9月23日				【参考】花巻電車開通状況：附志戸平温泉の昨今	3	電車開通までの経緯、車両、今後の延伸、所要時間(片道卅八分、急ぐ時は廿五分)、温泉地の利益などを報じる。車両については「客車一台に貨車一両」「昨今貨物の委託少なく乗客非常に多きを以て貨車にも乗客の希望に依り乗車せしむる」との記載あり。						
9月24日				【参考】花巻電車開通状況：附志戸平温泉の昨今	3	昨日の記事の続き。各種鉄道との乗り継ぎなどの案内、志戸平温泉や付近の名勝について報じる。記事によれば志戸平温泉は久保田逸郎が一人で経営、数年前に彼が経営するようになって繁昌するようになったという。また、記事末尾には記者・野村古梅による「志戸平温泉の歌」(替え歌)も掲載されている。	覚帳 (9.23)：小波さん(署名記事：風満樓主人)	2	小波の横顔を紹介する記事。通俗講演会のため花巻へ来たことには触れていないが、この時期に小波を取り上げたのは末花がきっかけだったと推測される。			
							【参考】小仙境志戸平：花電試乗記	3	20日午後に花巻電車の試乗に参加した記者による報告。終点の松原まで約40分要したことがわかる。また、花巻電気による発電を利用して、志戸平温泉が新浴場を建設したことなど、同温泉と電力会社との関わりもうかがえる記事。			
9月28日									花巻俳陣社 秋季俳句大会(一)	1	9月16日に「西公園内南岬庵」で開催された俳句会の成績と入選句を紹介。参加者は「四十余名」とある。	
									【参考】花巻電車好況	2	20(ママ)日から営業を開始した花巻電車について報じる。車両は28人乗で1日四往復、乗客は1日あたり平均100名内外とある。	
9月29日	花巻通信	2	花巻電車が開通して以来、乗客は日々150余名に達しており、都合によって臨時電車も運転すること。									
9月30日									花巻俳陣社 秋季俳句大会(二)	1	28日の記事の続き、小波選による天地人の作品紹介。「稗人」の俳句も確認できる。	
10月1日	花巻俳陣社 秋季俳句大会	1	9月16日に巖谷小波の臨席のもと「西公園内南岬庵」で開催された秋季俳句大会の結果報告。参加者40余名「急遽なる企てにも関わらず中々に盛会なりき」。「午後11時散会」。掲げられている俳句のなかに「稗人」の作もあり。									
10月6日	【参考】電車開通広告	3	志戸平温泉、大澤温泉、鉛温泉を訪れる客のために電車と馬車の連絡切符を発売するとの広告。電車発車時刻も掲載。									
10月7日							【参考】広告：電車開通	4	花巻電車開通を機に、志戸平、大澤、鉛温泉が電車と馬車の連絡切符を発売したことを知らせる。時刻表も掲載あり。			
10月20日							【参考】花巻電車の近況	3	電車と馬車の連絡切符が発売されたこと、団体客が県内から訪れていることなどを報じる。	【参考】花巻電車の近況	3	志戸平、大澤、鉛の温泉主との協議により、電車と馬車の割引切符が発売された。近隣からの団体旅行では乗車賃の割引などの便宜も。
10月30日	【参考】岩手県電気協会	2	26日から花巻電気株式会社の主催で「第四回岩手県電気協会」が志戸平温泉で開催された。会の様子と来会者の顔ぶれを報じる。来会者には「宮澤善治」の名前も確認できる。						【参考】岩手電気協会：志戸平温泉場にて開催	2	26日から花巻電気株式会社の主催で「第四回岩手県電気協会」が志戸平温泉で開催された。会の様子と来会者の顔ぶれを報じる。来会者には「宮澤善治」の名前も確認できる。	